



# Nagoya GRAMPUS

## 名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語	“Active Participation with Love” [愛をもって積極参加]
アジア会長標語	“Participation and Inspiration” [参画、そして感動を]
西日本区理事標語	“One for all, all for one” [一人はみんなのために、みんなは一人のために]
中部部長標語	“Chubu District Y'sdom 120” [こころ熱くし 今日も輝く]
クラブ会長標語	“Enjoy Volunteer! 「楽しいボランティア活動しよう！」

## 2006年8月号

— <今月の聖句> —

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、  
その実が残るようにと、ヨハネによる福音書15章16節

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

## 2006年8月例会ご案内

### ◎第一例会

と き : 8月5日(土)  
 ところ : 日和田高原火祭り  
 時 間 : 10:00~  
 内 容 :  
 ドライバー : 下村会長

### ◎第二例会

と き : 8月24日(木)  
 ところ : 名古屋YMCA  
 時 間 : 19:00~

朝8時に中央道恵那峡SAにて集合です。  
 長かった梅雨もやっと明けて暑い夏がやっ  
 てきました。今年も冷氣たっぷりの高原で  
 神秘的な火祭りを楽しみましょう。

7 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(6月)	
	在 席 者	16名	第 1 例 会	名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
例会出席者	10名	第 2 例 会	名	当 月・現 金		感 謝 フォンド		
当月出席率	%	部 会 他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

=強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

## 第一例会報告

### 1泊例会報告①

早川政人

7/8日、名古屋10時頃出発、梅雨にはめずらしく晴天です。郡上八幡まで少々遠回りでしたが豊田を抜け緑の中をドライブはなかなか気持ちが良い快適でした。高山オークヴィレッジの途中明宝の道の駅で小休止、おやつにヤマメの塩焼きをほうばり、溪流で水の音で涼をとり清見へ向かいました。清見では少し遅めの昼食をそば処清見庵で山菜天ぷらとそばを食べ(この場所は友人おすすめの店です)満腹になりました。清見庵より少し山道を登ると滝があるというので見に行きましたが、車からは15分~20分ぐらいでこれが運動不足の為ひざが笑い、途中休憩を取る様な訳です。滝のマイナスイオンを体中に受けて高山へ向かいました。オークヴィレッジにはメンバーが三々五々集まり、木の香りのお風呂に入り食事会場へおいしい食事と楽しいお酒をメンバー全員で味わい、ミッドナイトアワーへ会場を移して始まりました。メンバーのおかげで事業報告、会計、クラブ表彰も済み、新会長下村メンに会長バッチを引き継ぎました(お酒のせいでも無事に済んだのかと思っています?)翌朝9時より新会長下村メンの会長挨拶、事業計画、活動抱負など熱のこもった一年を迎える事が出来ると思います。下村会長を各メンバーは支えてあげて下さいよろしく願いいたします。又一年間ご協力ありがとうございました。

### 1泊例会報告②

坂倉 洋

7月8~9日、第14回目の一泊例会が高山のオークヴィレッジでおこなわれました。オークヴィレッジは広大な敷地の中に宿泊場・レストラン・家具工場・ショールームなどが緑の山の中に点在するのんびりとしたところです。

私は1時30分に坂野メンを会社に迎えに行き、2時に光栄にも次期下村会長を私の車にお乗せし、3名で高山へ向かいました。

夕方5時に現地集合。例会の始まりです。先に到着していたメンバーよりビールをいただき、入浴して名古屋のあかとしがらみを落として、和気あいあいの夕食会です。私は、ビールにシャンパン・ワインなどをフルコースの料理と一緒にいただき、すっかり出来上がってしまいました。

夕食のあとは、大事な会議です。今年度の会計報告等があり、私は早川会長より会長表彰と豪華賞品をいただきました。ありがとうございます。会議のあとはグランパス恒例のミッドナイトミーティングです。『根ノ上』『新 YMCA 会館』『チャリティーラン』『クラブ合併』などについて語り合いましたが、私は夢の中で参加していました。

二日目、レストランで食べ放題の朝食をたらふく

食べ、下村新会長の初めての例会です。会長方針・予算・活動予定等が討議され、無事一泊例会を終了しました。

帰りに宿紹介のそば屋で、てんこ盛りの天ぷらとざるそばをいただき名古屋へ帰りました。

下村会長お疲れ様でした。影で応援してますよ。

### 今期グランパスクラブ会長として

下村 明子

ワイズメン暦3年目の未熟な私ですが、ついに会長の座がまわってきました。

引き受けたからには、何か一つでも新しいことをやりたい!と、そう考えています。今期の会長標語「楽しいボランティア活動しよう」の通り、今期は新しいボランティア活動に向けて行動します。

具体的に、まずはチャリティーマラソンのようなイベントに一般公募のボランティアとして参加してみようと思います。今年の秋頃に計画第一弾を実行するつもりです。その際にはメンバーの皆さんのお力をお借りすることになりますので、ご協力よろしく願いいたします。

「やはり若い女性じゃ務まらないな。」とだけは言われぬような活動をするつもりです。老いも若きも男性も女性も、皆で楽しくボランティア活動しましょう。その活動を通して YMCA とワイズメンズクラブの活動内容をもっと外部へ知ってもらい、賛同する仲間が増えることが私の願いです。

最後に早川前会長、一年間お疲れ様でした。そして、メンバーの皆さん、これからご指導よろしく願いいたします。





## 年間活動計画

<http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/06yakuin/06katudou.htm>

## 06-07 クラブ会員

<http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/06yakuin/06yakuin.htm>

## 第二例会報告

7月20日 19:00～ 名古屋 YMCA 本館

出席者; 下村、坂口、荒川、坂倉、三井、徳田、早川、阿部、服部

### 1 諸連絡

- ・ 10月1日の街頭募金の委員長に早川君が決まりました。皆さん御協力を。

- ・ HP のメンバー顔写真について、支障のある方は連絡ください。(荒川)
- ・ 7月23日ワイズ中部役員研修がありました。
- ・ 来年のフィリピンワークキャンプについて、名古屋YMCAとして、行う方向で検討中です。フィリピンからも要請がありました。
- ・ 松原君宅での9月第2例会を、10月に変更する。

## 2 日和田まつり

- ・ 8月の第1例会とする。8/3は変更する。
- ・ 7月末までに参加者確定。
- ・ 当日恵那峡サービスエリアに8時集合。

## 3 リーダー慰労会

- ・ 9月15日の南山リーダー慰労会に参加する。
- ・ 9月4日に本館にてリーダーの「夏の報告会」があるので、そちらとの調整をしたほうがよいとの意見があり、南山の小林氏と荒川君とで協議することとした。

## 4 グランパスの将来像について話した。

- ・ 核となる事業を真剣に模索したい。
- ・ チャリティーランをもっと社会にアピールできるのではないか(会場、方法の検討)
- ・ YMCA 会館の建設もアピールしたい。
- ・ 根ノ上の存在意義を見直したい。
- ・ 三井次期部長よりクラブ合併も活動充実の為、将来的には考えていかななくてはならないとの意見が出た。

書記 服部

考え方で進める必要があります。



神谷次期理事の挨拶



栗原中部部長の活動報告

## 西日本区役員会報告

### 第1回西日本区役員会所感

荒川 恭次

2006年7月15・16日の両日新体制による第1回目の区役員会が開催されました。前回の準備役員会はちょうど西日本区大会当日で、PC のセッティングで悪戦苦闘していたため参加できず、初めての参加で緊張感を伴いました。議事は15議案と多くの内容を伴うもので、慎重の上にも慎重に薄氷を渡るがごとく慎重に議論されました。ワイズに入ってここまでシビアな議論は始めてでした。その前に各役員からは現状の課題等の提起がなされ、私自身も他の事業主任からは出遅れ感のある広報事業について現状課題等を報告しました。

7月がワイズの年度初めではあるが、実質的な年間事業は3月末までであるため、事業計画はスケジュール等をしっかりと織り込んでいかないと、あっという間に終わってしまう。正に企業と同様な



貴重な意見交換の場もありました

その傘下であるクラブ員が西日本区(理事)の事業方針を知らないでは困りますので、中部ホームページの理事通信は必ず目を通してください。

<http://www.ys-chubu.jp/main/rjji0607.pdf>

## 中部役員懇談会報告

### 第1回中部クラブ会長・中部役員懇談会 報告

三井 秀和

7月23日に名古屋 YMCAにて第1回中部クラブ会長・中部役員懇談会が開かれ私も下村会長、荒川広報主任、坂倉 YMCA サービス主査らとともに次期中部部長との立場で出席いたしました。今期中部の各クラブ会長ならびに中部役員各位が勢ぞろいし、栗原中部部長が掲げる「こころ熱くし 今日も輝く」の部長主題について説明後、参加された役員が「中部ワイズダム120をめざして」をテーマとして熱く語り合いました。

内容として今期の重点「活動方針」について会員増強とクラブの活性化、YMCA への適時・適切なサポート、HP・IT 推進による情報力の拡大と広報活動を推し進める事を担当の主査からの説明を加えながら確認し下記のテーマについて意見交換をしました。



#### 1]中部の現状を認識する

各クラブ会長よりそれぞれのクラブの現状と各会長の活動方針の報告、ならびにそれぞれの各クラブが持っている課題、問題等の説明と各出席者よりバズセッション的な方法での提言とアドバイスがあり各クラブともよく似た問題を抱えている事がわかりました。

会員減少と急速な高齢化等の問題に対してのEMCの強力な推進について同日、出席していただいた井之上 EMC 事業主査より熱く語っていただきました。

#### 2]中部のMC(会員増強と意識高揚)

今回のテーマでもあるように出来る事の20%アップについて部長より心熱くし語っていただきました。各クラブの発展ためにも「明確なビジョンと目標、緻密な達成プロセスと実行計画」をクラブ全員での共有し目指すことの重要さの説明がありました。

#### 3]森本西日本理事よりの重点目標について

1、会員増強 2、STOP HIV/AIDS 3、クラブ独自

の特徴ある奉仕活動の立ち上げ

以上の3つの目標の推進と89名増員の必達の説明。

今後も発展的なプロセスを検討しながら上記に掲げた事について具体化を図っていく事を確認し散会する。



## パラオ旅行記

坂口 功祐

人にはいろいろな趣味がありますが、私が27年間続けているものにスキューバダイビングがあります。始めたころは、仲間も多く主に太平洋の海外の海にも出掛けておりました。最近では、皆さんは家庭を持ち仕事も忙しくなかなか休みも合わないの一人で行くようになりました。今回は、今年初めて日本の船で6月のツアーを昨年末から募集を始めた「水中世界遺産のトゥバタリーフ」へのツアーに2月28日に申し込みました。日本で初めてのツアーでしたので人気が高く4回のクルーズがすでに満員で最後の1人で申し込みできました。ツアーは6月4日より11日までの8日間で私は中部国際空港よりマニラへ出発しました。名古屋よりは4名、東京、新潟等より18名がマニラ空港に集合してその日はマニラで泊まり翌日はパラワン島のプエルト空港へここから60フィートのクルーザーに乗り込んで1晩掛けて翌朝4時頃にトゥバタリーフに到着しました。興奮してか眠れなくデッキで日の出を待ちました。その時の写真です。



さて、ユネスコで指定された水中世界遺産トゥバタリーフではきびしい規制がありまして地元レンジャーの査察もありました。まず、2つある小島には上陸してはいけません。水中でも手袋禁止ですべてのものに触れてはいけません。もちろん、着底も禁止です。ただ見るだけの5日間です。この海の1日4本潜りましたが、人が入っていないため珊瑚は今までで最高の美しさでしたし海がめと魚の多さにも驚きました。

しかし、一番驚いたことは参加者22名中65歳以上が10名で最高齢の女性が72歳でベテランの方もいましたが、ほとんどの方が60歳くらいからダイビングを始められておりわたし達と変わりなく元気に泳ぎまくっておられました。皆さんスポーツクラブで基礎運動からスイミングそしてダイビングを始

め、毎日トレーニングを欠かしてありません。



本当に元気で2ヶ月に一回は海外へ出掛けるようです。私は、若い頃より潜っており実は最近体力の弱りを感じており何時までダイビングを続けられるだろうか心配になってきておりましたが、この人達と出会いまして私も今年で50歳ですが、まだまだ尻が青いこれからまだ15年以上続けられると励まされましたし帰ってからトレーニングに励み体重も3kgほど絞ることができました。これからも精進して世界に現在7つある水中世界遺産をすべて観て見たいと考えております。みなさんも何もすることの無い人はスポーツクラブに行ってダイビング始めてはどうですか？人生変わりますよ。



## DBC交流

### コーロ・カステロ還暦コンサート』に酔った1日

横浜とつかクラブ 渡邊 寛

皆さんご存知の小澤征爾さんが本格復帰宣言という新聞記事をご覧になったことでしょうか。私は7月10日小澤征爾さんの元気な様子を見ることが出来ました。この日、狛江市エコルマホールで『コーロ・カステロ還暦コンサート』が行われ、知人が成城学園コーロ・カステロのメンバーなので機会があれば聞きに行きたいと思っておりました。丁度この日お元気になった小澤征爾さんがこのコンサートに駆けつけてこられそうです。

小澤征爾さんは成城学園創立50周年のおり成城学園合唱団を指揮することになりました。

旧制成城高校の音楽部、また成城合唱団・男声部の歌の大好きな方が集まり「コーロ・カステロ」(城の合唱団の意)となったそうです。世界の国々の民謡や懐かしい歌を主なレパートリーとしてソロを多用したり、メロディーを各パートナーで分担し編曲を自分たちで行い、訳詩もしたそうです。

第1部は「コーロ・カステロ」のメンバーが指揮を執り浜辺の歌、Stars of the Summer Night、Old Black Joe、そして Londonderry Air を知人がソロで歌い、Santa Lucia、Lore-Ley が歌われた。

第2部では55周年を迎えた合唱団、賛美歌を歌うグループ「城の音」が賛助出演、このグループに小澤さんが入っており、夕日は沈みぬ(旧賛美歌 19)みたまなるきよき神(旧賛美歌 514)母君に勝る(旧賛美歌 437)など5曲を小澤さんが指揮を執られました。

第3部でも「コーロ・カステロ」の指揮を執られ、僧侶の合唱、Der Lindenbaum を全身を使い、腕を振り、指先まで、全体が波打つような軽やかな動きに聴いていて音楽の力強さだけでなく不思議な勢いを感じられました。その後は「コーロ・カステロ」の世話役・河津祐光さんの指揮となりました。アンコールもあり計10曲、約1時間疲れも見せず歌われました。「コーロ・カステロ」のメンバーは男性・平均年齢70歳、30数名の方がご自分の声を生かしてノール、バリトン、バスと若々しい歌声に本当のところ感心してしまいました。声を出すことの良さを改めて感じ取りました。最近では「コーロ・カステロ」に共鳴して若い方もメンバーに加わってこられておりました。

皆さん集うこと歌うことを楽しみに毎週練習を重ね、今日は700名を超える観客の前で美しいハーモニーを奏でいただき、楽しい一夜を過ごすことが出来ました。

## YMCAだより

### ロサンゼルス友情体験キャンプ2006

徳田

8月1日～15日の日程で渡米します。

最近の傾向では女子の方が海外に出ることに意欲的なのか、今年の参加者は全員女子となりました。団長の牧野スタッフは黒一点となりましたが、鈴木リーダーと共に、ロサンゼルスで現地の人たちと出会い、交流して良き思い出を作り、皆を一回り成長させて帰国してくれるものと期待しています。



## そ の 他

### 1. ネットDBC

今月もどんどん掲示板書き込んでください。  
<http://9029.teacup.com/classy9/bbs>

### 3. 今月の誕生日

happy birthday

吉田 一誠 (7日)

阿部 一雄 (8日)

吉田 正 (24日)

佐藤 壽晃 (30日)

congratulation!

### 4. 今月の活動ポイント

Ysユース、Ysコメント、Yリーダーに次年度のユースコンボケーションへの参加を積極的に呼びかけてください。YYフォーラムの実施、部ユースクラブ設立特別委員会の設置、活動を始めてください。

橋崎良治 Yサ・ユース事業主任